



営農ウィークリーNEWS

水稻の刈取適期について

高品質米生産には、適期収穫が大変重要です。早めに準備をして、収穫時期が遅れないよう注意しましょう。**早刈**:①粒の充実が不十分になる ②未熟粒が多く低収、品質低下の原因になる **遅刈**:①胴割、穂発芽等の発生 ②品質低下の原因になる



刈取適期の判断

- 帯緑色籾歩合とともに出穂後の平均気温積算値による。
- 積算気温は登熟期間の気象状況によって変動するので、目安とする。
- 帯緑色籾歩合の推移より刈取適期を判断する。
- 帯緑色籾歩合とは 1穂のうち、緑色が残っている籾の割合が概ね10%程度の時が収穫開始時期、2%のときが収穫晩限となる。
- 生育が平均的である5~10株の上位2穂程度を調査する。
- 成熟期は、肥効の切れやすい砂壤土で早まり、粘質土壌や多肥栽培で遅れる傾向がある。

収穫期（適期）の目安



品種名	出穂後日数	出穂後積算気温
早生品種	35~40日	850~1,000℃
中生品種	38~42日	900~1,000℃
晩生品種	40~45日	900~1,050℃

- 出穂後の平均積算気温（日平均気温の累積）。
- 積算気温は登熟期間の気象状況によって変動するので、目安とする。

「ヒノヒカリ」収穫の目安

-TAC information-

斑点米カメムシ類対策を忘れずに!!!



管内の水稻圃場で「ヒノヒカリ」が出穂期を迎えてきています。

この時期大切なのが、斑点米カメムシ類の防除です。（スタークル粒剤・豆つぶ、顆粒水溶剤などがオススメ！）

開花が終わり、穂が垂れてきたところが散布適期です。

圃場ごとの出穂状況を確認し、防除適期を逃さぬよう、気を付けて下さい。



水稻の高温・害虫防除対策研修会を開催

8月22日、向島支店水稻部主催による「**水稻の高温・害虫防除対策研修会**」が開催されました。

近年の異常気象において、農産物の栽培環境や病害虫の発生状況も変化してきており、この変化に対応した栽培技術対策が求められています。

今回は、経済部営農販売課の荒木俊光技術顧問より同対



挨拶をする原田水稻部長

策のポイントなどが報告されました。

また、伏見区管内の水稻で被害が多発している「**ミナミアオカメムシ**」の概況について経済部営農販売課の新谷雅敏課長が報告されました。

去年は、8月下旬以降から日照不足と長雨など水稻や秋冬栽培の農産物が影響を受けました。水稻では、これからカメムシ類の防除適期となりますので、ほ場を見回り、発生を確認したら防除してください。



報告をする荒木技術顧問



「**ミナミアオカメムシ**」の**防除を忘れずに！**

近年は、水稻圃場で繁殖している場面も確認されております。

出穂後、防除を行っても収穫直前に他の圃場より侵入してくる恐れがありますので、十分注意してください。